



広
報

びらとり

2020

3

No.692

シシリムカアイヌ文化祭

アイヌ語劇「キムンカムイ～母さんとの別れ」2月16日

全道PKグランプリ (2/2)



「第24回全道PKグランプリ」が二風谷ファミリーランドで開催されました。

今年は雪が少なく、例年のような「雪上PK」とはなりませんでしたが、全道各地から104チームの参加があり、参加者からは、「貴重な冬のイベント」、「もうすっかり毎年の恒例行事」といった声が聞かれ、会場のコンディションは関係なく、競技を楽しんでいたようです。昼には定番となっている「びらとり和牛」「びらとり黒豚」のバーベキューを存分に堪能していただきました。

新消防車配備平取1号車 (2/10)



火災・救助の両事案に迅速に対応するため、水2000リットルと消火薬剤を積載し、火災現場の最直近で消火活動をする最新の能力を持つ、新しい消防車が平取消防署(平取町本町)に配備されました。

救助用資機材も積載しており、交通事故や各種災害時にも活動できる「多機能消防車」です。興味のある方は平取消防署にお問合わせの上、見学できるとのことです。

アトリエ野の花、仔馬の会 合同作品展 (2/21 ~ 24)



ふれあいセンターびらとりにおいて、町内の絵画サークル「アトリエ野の花」と「仔馬の会」の合同作品展が開催されました。

サークルのメンバー22人が制作した油彩、水彩、パステル画などの絵画35作品と、赤をテーマにした「はがき絵」が展示されました。個性豊かで魅力的な作品が、来場者を楽しませていました。

義経雪あかり (2/1)



ふれあいセンターびらとり周辺の本町商店街で、今年で18回目の「義経雪あかり」が開催されました。平取町商工会平取地区会が主催し、毎年冬の商店街をアイスクャンドルやライトアップで彩る恒例の催しですが、今年は雪不足で残念ながら雪像づくりはできませんでした。

それでも、豪華な景品が当たるクイズ大会・ビンゴ大会、人気メニューの「義経雪うどん」やココアも振舞われ、参加した皆さんの笑顔がアイスクャンドルの灯りに照らされていました。

まちのひろば

シシリムカアイヌ文化祭 (2/16)

第31回となる「シシリムカアイヌ文化祭」が中央公民館で開催されました。

「子どもの部」では、日頃の「二風谷アイヌ語教室」での成果が存分に発揮された「紙芝居」、「歌と踊り」が披露されました。また、1月に行われたニュージーランドのマオリ族の皆さんとの交流事業について報告がありました。

「大人の部」では、アイヌ語劇「キムカムイ～母さんとの別れ」が上演されました。このヒグマ親子のおはなしは、木村 二三夫 氏(貫気別)による、原作で絵本としても出版されています。共存共栄の大切さを教えてくれる内容で、劇の終わりには、会場が大きな拍手に包まれていました。

また「大人の部」専任講師 木幡 サチ子 氏による特別口演「カカラクトノ イカオピユウキ」(さきぼそ鳥が私を助けた)、平取と浦河それぞれの「アイヌ文化保存会」による古式舞踊などが披露されました。

来場者からは「アイヌ語について学ぶことができた」「古式舞踊が素晴らしかった」などの声がかれました。



まちづくり住民大会 (2/9)

平取町自治振興会主催による「まちづくり住民大会」が、平取町中央公民館において開催されました。

介護界のアイドル(カイドル)、「ごぼう先生」を招いて、「ごぼう先生の笑顔をつくる健康体操」の演題で講演会が行われました。

椅子に座ったままできる健康体操、「後出しじゃんけん」などの楽しいゲーム形式の頭の体操に、先生の介護現場での実体験を交えた、高齢者の生活に役立つ話まで、笑顔や笑い声が絶えない中に、元気で過ごすためのヒントがたくさん詰まった講演会となりました。



北海道知事感謝状(自然保護関係功労者)受賞 (2/6)

船越光次さん(二風谷)に、知事感謝状が贈られました。船越さんは平成19年4月から「鳥獣保護管理員・自然保護監視員・生物多様性保護監視員」を務められ、幌尻岳登山道周辺地区や指定希少野生動植物の監視活動、環境保全に貢献されています。

登山者への指導、ヒグマの情報収集、関係機関への周知など、事故防止活動の功績が認められ、この度の受賞となりました。

2月6日(木)に伝達式が行われ、日高振興局長 柏木 文彦 氏より感謝状が手交されました。心よりお祝い申し上げます。



「プロスノーボーダーとしての活躍」
 1月26日(土)から27日(日)にかけて開催された、「2020 FIS公認 第24回北海道スキー選手権大会スノーボード競技 スロープスタイル兼アジアカップ ニセコ花園大会」で藤谷 瞭至さん(平取中3年)が見事3位に入賞されました。
 また、2月4日(火)から7日(金)にかけて開催された、「白い恋人PARK AIRスノーボード大会」ではナショナルチームの2名を含め全国から強豪が集まるなか、見事優勝を果たしました。パークエリアは、雪まつり大通会場で行われる非常に人気の高い大会で、テレビ放映も多いと思います。
 どちらの大会でもダブルコート1260(縦2回転・横3回転半)という高難度の技を成功させました。
 藤谷さんは中学1年生のシーズン成績で日本スノーボードシ(J S B A)公認のプロ資格を日高管内で初めて取得しました。



藤谷 瞭至さん

道内で唯一の高校に入学し、更なる高みを目指します。インスタグラムでも近況を報告しています。ぜひご覧ください。
 藤谷 瞭至です。4月から道内唯一の高校に入学し、更なる高みを目指します。インスタグラムでも近況を報告しています。ぜひご覧ください。
https://www.instagram.com/ryoji_fujiya/



https://www.instagram.com/ryoji_fujiya/

「あこがれを抱き続けて」
 高校生の時にアイヌ文化について学ぶ機会があり、アイヌの人々は動物、植物はもちろんだ、道具類を含む世の中のものすべてに魂が宿っていると考へて興味を持ちました。
 その後、進学した大学の学部で言語学を専攻し、樺太アイヌ語の勉強をしていました。
 「旅での運命的な出会い」
 大学3年生の夏休みに、アイヌ文化の勉強をするため自転車で行く道に、二風谷の「匠の道」にも行かせていただきました。マキリ(短刀)が欲しくて、お店に立ち寄ったとき、高野繁広さん(二風谷)が木彫りをしていて、偶然見ることができ、「カッコいい！」と思えました。
 高野さんは、私がアイヌ文化に興味を持っていて、木彫りを始めたいことを知ると、話してくれ、大変面白くてたのめになる話を1時間くらい話してくれました。その親切さ

「目標はナショナルチーム」
 そして「オリンピック」
 当面の目標はナショナルチームに入って日本代表として世界規模の大会で活躍すること。そして冬季オリンピックに出場することです。そこまでの道のりは険しいですが、3位入賞を果たしたアジアカップはFIS公認のコンチネンタルカップ(国際大会)ということ、目標に近づけることができました。
 また、2月29日(土)に群馬県で開催された2020 FIS公認 尾瀬戸倉スロープスタイル大会でも3位入賞し、3月下旬のFIS全日本選手権大会に向けて練習していました。新型コロナウイルスの影響で3月のFIS大会がすべて中止になってしまいました。
 それでもこの時間を練習にあてようという気持ちで練習しています。



植松 由貴さん

植松由貴です。大学を卒業後、東京でIT系の会社に勤めていたが、偶然、平取町の地域おこし協力隊の募集記事を見つけて、平取町に来ることができました。普段はアイヌ工芸館「ウレシバ」で活動していますので、ぜひお立ち寄りください。



地域おこし協力隊として、織物と木彫りのどちらかを学ぶかを選ぶとき、マキリを作りたいという思いと高野さんへの憧れが重なり、木彫りを選ぶことにしました。旅での出来事が私を後押ししてくれました。
 北海道の生活には、まだ慣れないし、木彫りも基礎を学び始めたばかりですが、最終的にはオリジナルの文様をつくり、周囲に認められるようになりたいです。木彫りで生計を立てたいです。木彫りに平取町とアイヌ文化をアピールできたことを考えています。

TV アニメゴールデンカムイ 謎解き宝探し (2/8 ~ 24)

平取町観光協会主催による「TV アニメゴールデンカムイ 謎解き宝探し」が開催されました。

博物館、工芸館、歴史館を巡り、歴史を楽しみながら謎を解くイベントです。参加者全員が参加賞や、全問正解者への特典記念品を目指して謎解きを楽しんでいました。

参加者のなかには、この謎解きゲームのために本州から来たという熱心なファンの方も、人気の「ゴールデンカムイ」、「謎解き」そして「アイヌ文化」が一体となった、いずれのファンも満足できる大盛況のイベントとなりました。



感謝状を贈呈させていただきました

苫小牧地方法人会平取支部会会長 小林 史明 氏 より 社会福祉法人平取福祉会(山嵜 俊紀 理事長)へフルリクライニングキャリー(車椅子)の寄贈がありました。

この福祉器具などの寄贈は毎年継続されており、今回の車椅子は「障害者支援施設すずらん」で使用されることになりました。福祉貢献活動の継続的な取組みに敬意を表します。



(株)小林組 代表取締役社長 小林 史明 氏 より、貫気別小学校、二風谷小学校2校の全児童に「防災バッグ」が寄贈されました。未だ町内で復旧工事が続いている「北海道胆振東部地震」などの災害に備える意識を強めてもらいたいという思いから、防災バッグを寄贈されたとのこと。

(株)小林組には、町長より感謝状が贈呈されました。あたたかいご厚意に感謝いたします。

令和元年度 平取町教育奨励表彰 3個人、3団体に授与



語られました。
木村 結さんは、「日高管内教育実践（特別賞）」も受賞され、町教育奨励表彰式に引き続き、波岸日高教育局長より表彰状が手渡されました。

【社会教育奨励表彰】

株式会社 小林組
代表取締役 小林 史明
保育所、子育て団体および小学校や養護学校の児童生徒など、地域の子どもたちを対象に、平成13年から毎年19年間「ミニ動物園」を開催されています。

2月25日（火）に中央公民館において「令和元年度平取町教育奨励表彰授与式」が行われました。社会教育奨励表彰1団体、スポーツ奨励表彰3個人・2団体に教育長より表彰状および記念品が授与されました。受賞者の挨拶では、受賞の喜びと今後の抱負が

動物への関心を高め、命の大切さを学ぶことに寄与され、子どもたちの情操を培うことに貢献された功績により、この度の栄に輝かれました。
これまで、平成26年度、27年度に平取町功労表彰（善行賞）を受賞されています。

【スポーツ奨励表彰】

（敬称略）

（個人）
木村 結（むらゆい）
柔道全道大会優勝・全国大会出場：平取中1年

・藤谷 瞭至（ふじやうじ）
全道スノーボード競技スロープスタイル兼アジアカップニセコ花園大会3位、白い恋人PARK AIR2020優勝：平取中3年（受賞3度目）

・小林 駿大（こばやし はやた）
剣道全道大会優勝・全国大会出場：札幌第一高校2年

（団体）
・平取中学校剣道部
校長 東峰 秀樹
内閣総理大臣杯授与第37回若鷲旗剣道大会北海道予選会準優勝・全国大会出場（受賞2度目）

・平取球友会
代表 藤原 謙和
第41回東日本軟式野球大会1部 南北北海道大会優勝・全国大会出場

—新たな決意を—

4月からの学校や学年に向け、健康で、安全・安心な春休みに

年度の替わりは子どもたちにとって、決意を抱き新たな計画を立てる良い機会です。
この時期を有意義に過ごし、4月の始業式・入学式を迎えるために、事故や問題行動の未然防止に向けた取り組みが大切です。
基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の確立、挨拶の励行など、家庭・地域・学校の連携のもと、子どもたちの成長を見守り、支援していきましょう。

【注意】

通学路の確認などの交通安全・河川の増水・ネットトラブル・不審者など

- 町内小中学校入学式・始業式
- 4月7日（火）
 - ・小学校入学式
 - ・小中学校始業式
 - ・小学校新入生（5校）40名
- 4月8日（水）
 - ・中学校入学式
 - ・中学校新入生（2校）45名

世代を超えた交流 ～高齢者と子ども交流会～

平取町子ども会育成連絡協議会主催の「高齢者と子ども交流会」が、2月15日（土）に貫気別生活館で開催されました。



の生きがいづくりに寄与しています。
今年度は、町内の子ども会会員、貫気別小学校児童および貫気別地区の老人クラブ会員の皆さんがチームに分かれ「自己紹介ゲーム」、「風船リレー」、「防災かるた」などを行い、協力し合いながら交流を深めました。
最後は「お菓子まき」で大いに盛り上がり、高齢者

体験もりだくさん〜ゆきあそび〜 ～第5回子育て講座～

と子どもが世代を超えて、充実した時間を過ごしていました。
2月11日（火）に第5回子育て講座「親子でレッツGO！雪遊び」が開催され、町内外から49人の親子が参加しました。

日高国際スキー場を会場に、スノーモービルとそり遊びの体験を行いました。就学前のお子さんが多く、初めはスノーモービルに乘ろうか戸惑う様子でしたが、勇気を出して乗った後には、何度も繰り返し乗るほど楽しむことができました。一緒に乗った保護者も「スノーモービル体験は初めて。子どもが喜んでくれてうれしい」と話していました。

また、平取町ALITのデ INA先生とデイブ先生にお手伝いをしていただいた

たことで、澄んだ空の下、開放的な環境で自然に英語でコミュニケーションする親子の姿がみられました。
「日高青少年自然の家」でバイキング昼食を楽しんだ後は、雪の中の「宝探し」を行いました。嬉しそうに歓声をあげながら探し当てた宝物のプレゼントをもらい、親子で過ごす楽しい冬の一日となりました。

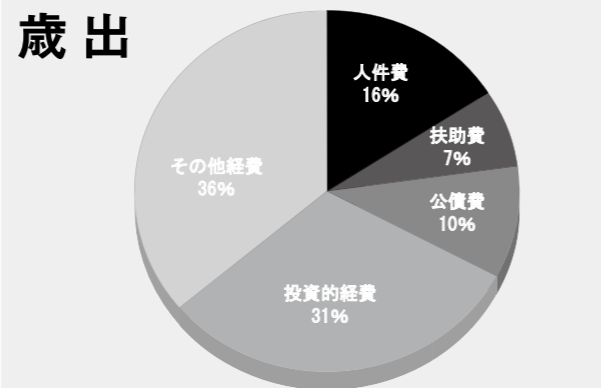
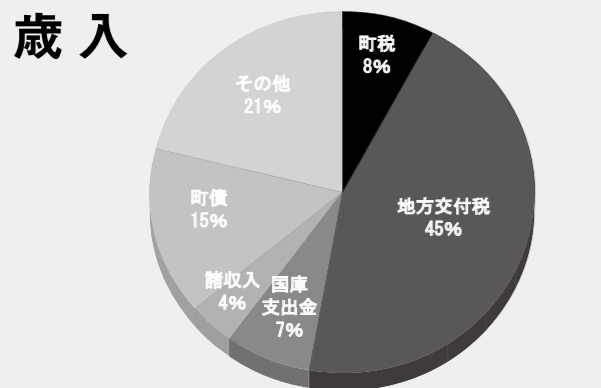


平成30年度一般会計決算報告

平成30年度の一般会計の決算状況をお知らせします。

歳入総額は64億0,792万円、歳出総額は63億4,928万円となりました。町の貯金となる基金は前年度末より1億5,959万円減り24億3,266万円、また町の借金となる町債の残高は3億6,031万円増え、77億0,364万円となっています。地方財政の状況は、依然として先が読めない厳しい状況です。

今後も総合計画を基調とし、効率的な財政運営のもと、地域経済の振興と町民の生活支援を最優先課題とし、未来を見据えた行財政運営に努めます。



区分	決算額
町税	5億3,569万円
地方交付税	28億5,145万円
国庫支出金	4億4,780万円
諸収入	2億5,772万円
町債	9億4,084万円
その他	13億7,442万円
分担金・負担金	2,499万円
使用料・手数料	1億4,176万円
道支出金	5億0,414万円
財産収入	6,033万円
寄付金	1億5,792万円
繰入金	2億0,000万円
繰越金	8,664万円
その他	1億9,864万円

区分	決算額
人件費	10億4,229万円
扶助費	4億3,472万円
公債費	6億1,569万円
投資的経費	19億9,558万円
補助事業	6億1,426万円
単独事業	10億5,548万円
災害復旧費	3億2,584万円
その他経費	22億6,100万円
物件費	9億1,389万円
維持補修費	1億1,394万円
補助費等	5億4,351万円
積立金等	4,581万円
貸付金	6,501万円
繰出金	5億7,884万円

歳入合計
64億0,792万円

歳出合計
63億4,928万円

※入湯税の決算額124.3万円はファミリーランド施設整備事業に充当しました。

人件費 議員の報酬や職員給与などの経費
扶助費 児童手当などの支給および町が単独で行う各種扶助のための経費
公債費 道路の整備や住宅の建設のため、国や金融機関から借りたお金の返済に充てるための経費
投資的経費 公共施設や公用施設の新増設事業に必要とされる経費
その他経費 旅費、交際費、需用費や町から一部事務組合や民間に対し補助する経費など
町税 町民税や固定資産税、軽自動車税などみなさんが町に収めた税金
地方交付税 国が地方公共団体に対して交付するもの
国庫支出金 町が行う事業に対して一定の割合で国が補助
諸収入 町民が住宅を建てたために貸したお金の償還金や負担金など
町債 町が公共施設などの整備に充てるため、国や金融機関から借りたお金



教育委員会では健康や生きがいづくりを目的に、講演会やレクリエーションなどの学習活動を行う高砂市立大学を振内・貫気別・本町の町内3地区で開設し、学生は楽しみながら交流しています。

2月20日(木)に1年間の活動の集大成として、振

高砂・明生・義経
三大学合同学園祭

内町民センターで「三大学合同学園祭」が開催されました。

学園祭では、日ごろの練習の成果が発揮された、大学ごとに行う合唱をはじめ、舞踊やカラオケなど28演目が披露されました。

また、普段から学生が取り組んでいる書道や手芸、写真などの作品展も催され、来場者を楽しませていました。

★1～3年生の部
 ・優勝 ファイヤードッジ
 ・準優勝 貫気別ジュニア

★4～6年生の部
 ・優勝 SS AGAIN
 (エッセス アゲイン)
 ・準優勝 自滅の刃
 ・3位 ☆Friends Ten☆
 ・4位 ムツゴロウ
 ・5位 シェイクインマイティアーズ
 ・6位 ドラゴンズ
 ・7位 ONE TEAM

2月22日(土)、「第8回全町小学生ドッジボール大会」が町民体育館で開催されました。全町から9チーム総勢92人の小学生が参加し、1～3年生の部2チーム、4～6年生の部7チームの総当たり戦で、熱戦が繰り広げられました。

参加者はいろいろと戦略を考え、優勝を目指して懸命にボールを追いかけました。保護者や先生方も真剣に試合に取り組み児童の姿を見て、熱い声援を送っていました。

優勝目指し、一球入魂!!
全町小学生ドッジボール大会



優勝チーム SS AGAINのみなさん

図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00
土・日曜日 9:30～17:00

○休館日 月曜日・祝日
※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館



新着図書

【小説・エッセイ】

- 『海の十字架』／安部龍太郎
- 『たおやかに輪をえがいて』／窪美澄
- 『うちの父が運転をやめません』／垣谷美雨
- 『花咲小路一丁目の髪結いの亭主』／小路幸也
- 『三年長屋』／梶よう子
- 『去年の雪』／江國香織
- 『流浪の大地』／本城雅人
- 『スマホを落としたただけなのに 囚われの殺人鬼』／志駕晃
- 『酒合戦』／佐伯泰英
- 『「好き」の因数分解』／最果タヒ
- 『生きるための辞書』／北方謙三
- 『綴る女 評伝・宮尾登美子』／林真理子
- 『黒い司法 黒人死刑大国アメリカの冤罪と闘う』／ブライアン・ステイーヴンソン

【医学・社会・家庭】

- 『シニアの狭心症・心筋梗塞』／上妻謙
- 『ウルトラ図解血液がん』／神田善伸
- 『ADHDの人の「やる気」マネジメント』／司馬理英子
- 『へそ天にゃんこ』／すむぞう
- 『はじめてのWindows10』／戸内順一
- 『こまったさんのレシピブック』／寺村輝夫原案

【児童書】

- 『サブキャラたちのグリム童話』／齊藤洋
- 『5分後に謎解きのラスト』／エブリスト
- 『まいごのしにがみ』／いとうみく

【絵本】

- 『もしものせかい』／ヨシタケシンスケ
- 『パパトラ』／平田昌広・文 きむらゆういち絵
- 『スキップスキップ』／あまんきみこ作 黒井健・絵

※ 図書ワゴン運行予定 ※

4月2日(木)

【振内地区】10:00～12:00 山の駅ほろしり館

【貫気別地区】14:00～16:00 貫気別生活館

■ 貸出期間は次回の巡回日までになります。

■ 毎月第一木曜日に運行します。



図書館カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■ は休館日です

◆ 新着CDのお知らせ ◆

【邦楽】

- 『Traveler』／Official 髭男dism
- 『834.194』／サカナクション
- 『美輪明宏全曲集 2020』／美輪明宏
- 『いつか、その日が来る日まで…』／矢沢永吉

【洋楽・その他】

- 『サンキュー～平成洋楽ヒット』
- 『天気の子』／RADWINPS
- 『オンエアー NHKレコーディングス』／栗コーダーカルテット
- 『手まわしオルゴール』

【童謡】

- 『キラキラ Smile えがおあふれるこどものうた』
 - 『学び応援! えいごのうた～Happy English～』
- ※CDの貸出期間は1週間です。

新作・布絵本いただきました!

ふれあいサークルさんより、新作『がんばれ ねずみのおてつだい』を寄贈していただきました。貸出もできます。



【問合先】平取町立図書館

TEL 01457-4-6666

FAX 01457-4-6871

メール risu2@guitar.ocn.ne.jp

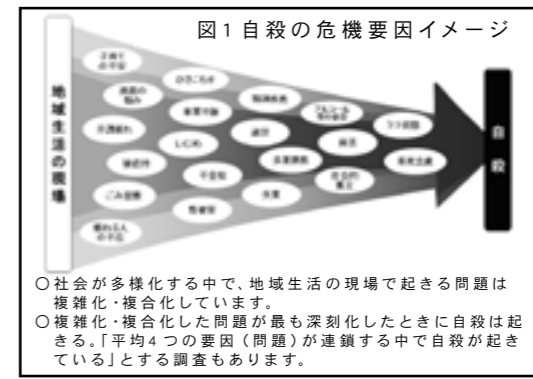
すこやかだより

『平取町のちを支える 自殺対策計画』の策定

日本の自殺率は世界主要8か国のなかで2位(ロシア・日本・フランス・アメリカ・ドイツ・カナダ・イギリス・イタリア 順位順)と高く、国では「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」をめざし、平成18年に自殺対策基本法が施行され「自殺総合対策大綱」が策定されました。平取町においても、総合計画のテーマである「みんなであつくる 未来へつなぐ あふれる笑顔」をめざしたまちづくりを行うなかで、誰も自殺に追い込まれないまちづくりをめざすことを目標に、令和2年1月「平取町のちを支える自殺対策計画」を策定しました。

自殺は個人の問題ではなく『社会の問題』

自殺の多くは、図1のように精神保健上の問題だけでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立など、さまざまな社会における「生きることの阻害要因」が重なり合い、追い込まれた末に選



択してしまう過程がみえてしまいます。こうした阻害因子を減らし、「生きることの促進要因」を増やすため取り組みを総合的に推進していくことが必要です。

『生きることの促進要因』を増やすための取組み

◆ 生きることを支える人材育成

自殺に追い込まれそうな状態を避けるため、町では「ゲートキーパー」の育成を進めます。ゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守ることができる人のこ

◆ 相談できる窓口を増やす

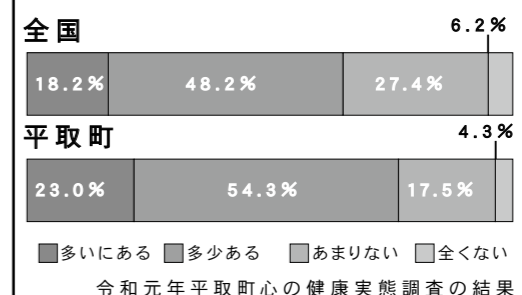
平取町では、図2のようにストレスを感じている人が全国よりも多いという結果になっています。『ひとりで悩まず早めに相談』をスローガンに、昨年より精神保健福祉士などの専門スタッフによる『こころの健康相談日』を開催しています。

◆ 居場所づくりの促進

高齢者の閉じこもりや若年層の引きこもりをなくすための交流サロンや集いの場などの立ち上げや見守り体制・各関係機関との連携を進めていきます。

と」が図れる人のことで、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のことです。まずはじめに役場職員や医療・介護などの関係職種スタッフ、民生委員などを中心とした人への研修会の実施や講演会の開催を予定しています。合わせて、令和元年に実施した平取町の健康実態調査の結果より、ゲートキーパーを知っている人(4%)や関心がある人(9%)の認知・関心度を上げるための周知啓発活動も行います。

図2 日常生活の中でストレスについて



今年度は年8回の実施を予定し、相談電話の対応など、心の悩みを相談できる場を設けていきます。

【平取町心身の健康相談電話】
平取町役場 保健福祉課
☎ 4-61112
・月曜日～金曜日
・9時～17時
その他の相談窓口は、厚生労働省ホームページ(自殺対策/悩み相談)に掲載されている相談先一覧にて、電話・SNS・その他相談サイトなどの照会先が閲覧できますので、ご確認ください。

今月のワンショット

PK グランプリ (2/2)



役場関係 電話番号

- 平取町役場 ☎ 2-2221
- 総務課 (代表) ☎ 2-2221
- まちづくり課 ☎ 2-2222
- 産業課 ☎ 2-2223
- 税務課 ☎ 2-2224
- 出納室 ☎ 2-2225
- 建設水道課 ☎ 2-2226
- 議会事務局 ☎ 2-2227
- アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
- 農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
- 観光商工課 ☎ 3-7703

まちの人口と世帯数

	人口		世帯数	
	人	(前月比)	世帯	(前月比)
人口	4,937	人 (+ 24人)	2,523	世帯 (+ 28世帯)
男	2,408	人 (+ 9人)		
女	2,529	人 (+ 15人)		
世帯数	2,523	世帯 (+ 28世帯)		

※ 2月末現在の住民基本台帳による



- ふれあいセンターびらとり ☎ 4-6111
- 保健福祉課
- 保健推進係・福祉係 ☎ 4-6112
- 介護支援係・介護保険係 ☎ 4-6114
- 町民課 ☎ 4-6113
- 児童館 ☎ 2-3026
- 子ども発達支援センター ☎ 2-3400
- 地域包括支援センター
「ほほえみ」 ☎ 2-3700
- 図書館 ☎ 4-6666

すずらん短歌会詠草

日曜日青空に白き雲ありて
微動だにせず栗の木たたずむ
中沢 三子

今生のお別れするではないけれど
土地をはなるる友淋し
相田 のぶ子

朝食に漬物食めば夫のゆう
おいしい味だとほめ言葉くれる
中原 千鶴子

あれだめよそれもだめよの多き事
分かりていてもため息一つ
石川原 多満代

群れで来たカラスを横目に小屋中で
狸寝入りの番犬なるか
熊谷 厚子

「すずらん短歌会」入会者募集!
希望者は、中央公民館生涯学習課社会教育係へ

- 平取町教育委員会
- 中央公民館 ☎ 2-2619
- 町民体育館 ☎ 2-2749
- 二風谷アイヌ文化博物館 ☎ 2-2892
- 沙流川歴史館 ☎ 2-4085
- 役場振内支所 ☎ 3-3211
- 役場真気別支所 ☎ 5-5204
- 平取町国民健康保険病院 ☎ 2-2201
- 平取町社会福祉協議会 ☎ 4-2267
- 平取町外 2 町衛生施設組合 ☎ 2-2024
- 平取消防署 ☎ 2-2361



ホームページ QR コード



有料広告募集中!